

## 令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 3 月 23 日

札幌市立 発寒中学校

## 1 今年度の重点目標

共有から連携へ 連携から一貫へ

## 2 本年度の経営方針

・生徒一人一人を大切にされた教育活動の推進 ・教職員の愛情あふれる指導と教職員相互の協力体制を基盤とする学校運営の推進 ・保護者や地域との連携による学校教育の充実 ・小中一貫した教育活動の推進

## 3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	学校評価アンケートの設問	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	達成状況	改善策の適切さ
目指す子ども像	アンケート全体を評価するため設問なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と協力し、助け合える生徒</li> <li>・互いの考えを尊重できる生徒</li> <li>・物事を正しく判断し、自ら進んで行動できる生徒</li> <li>・自ら課題を見つけ、その解決に向かって学び続けられる生徒</li> <li>・心身ともに健康で、健全な生徒</li> </ul>	A	本校の伝統である「I' 98きまり」や「D&I」精神に基づく生徒自身に物事の本質や意義を考えさせる指導・支援を継続・深化させる。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		学校を訪問したときに生徒があいさつをする様子を素晴らしいと感じている。「I' 98きまり」や「D&I」精神により生徒たちが前向きに学校生活を送っていることが伝わる結果である。今後も継続・深化させてほしい。				
人間尊重の教育	設問1・2・11	「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり	A	「I' 98きまり」「D&I」精神を基盤に、本校の生徒の良さを生かした「協働」を通して、自己肯定感や相互承認の感度を更に高める。	A	A
「学び力」の育成	設問4・5・7	課題探究的な学習を取り入れた授業の創造	B	これからの社会に求められる創造性を育むためにも、引き続きAARサイクルで捉え直した「課題探究的な学習」を取り入れた授業を充実させる。また、評価を通して自らの指導を改善する「指導と評価の一体化」を実践する。	B	A
「豊かな心」の育成	設問10・14	学校の教育活動全般を通して他者を思いやる心の育成	A	日常の道徳授業の実践に加え、「I' 98きまり」道徳や「D&I」講演会などを通して、他者を思いやる心や生命を尊重する心を育む。	A	A
「健やかな体」の育成	設問17・18	心身の健康と安全の実現 体力を育むための取組	B	年2回の教育相談を中心としたきめ細かな生徒支援を継続する。また、スポーツ大会などの取組を通して、運動の楽しさに触れる機会を創出する。	B	A
いじめ対策	設問16	いじめ・暴力のない学校づくり	A	「I' 98きまり」のキーワードである「自律」「尊重」「協力」をテーマにした全校道徳を通して、引き続き多様な他者の存在を肯定する態度の育成を図る。	A	A
一貫性・連続性のある教育(小中一貫した教育)	設問なし	9年間の系統性・連続性のある教育の実践	B	パートナー校で実践する札幌教研の研究会を更に充実させるとともに、コミュニティ・スクールを通して、生徒会・児童会の連携を深める。	B	A
学校関係者評価委員会による意見		授業改善は常に求められるものだと思うので、更に研鑽を積んでほしい。全校道徳や教育相談など、生徒の健やかな成長に寄与する取組を今後も継続してほしい。また、コミュニティ・スクールの仕組みを活用することで、地域と学校の協働が深まることを期待している。				
学校独自に設定する分野	設問9	総合的な学習の時間を通じた課題解決能力の育成	A	本校で取り組んでいる「未来の私プロジェクト」において、情報の収集、分析・整理、発表のサイクルを通して課題解決能力を育成する。また、旅行的行事において体験的な学びの機会を創造する。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		総合的な学習の取組はとても良いものだと思うので、今後も継続することで生徒の力を伸ばしてほしい。				

\*達成状況 A 達成できた B 概ね達成できた C 改善の余地がある